

研究発表大会が開催されました

平成27年11月11日(水)、名古屋市教育センター講堂にて、名古屋市情報教育研究会研究発表大会が開催されました。研究部の発表内容についてお知らせします。



「自ら考え、自ら学び、たくましく生きる力を育む情報教育」

－ ICTを活用した分かる授業と情報活用能力を高める授業を目指して－

研究主題は、2年目を迎えました。今年度は6つのグループの実践について、代表者が発表を行いました。

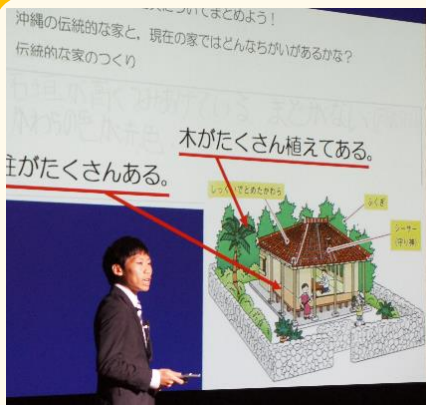


ICT活用研究部

「ICTを活用した、子どもが分かったと実感できる授業を目指して」

情報活用能力研究部

「情報活用能力を身に付け、生かすことができる授業を目指して」



小学5年グループ
長谷川 堅亮 (西味鏡小)

小5社会「あたたかい土地の暮らし」で、NHK学校放送番組のクリップ映像や地図ソフト等のデジタルコンテンツを活用した。子どもたちは、教科書の資料では分からない現在の様子を知り、新たな気付きを増やすことができた。



小学3年グループ
林 一真 (天白小)

小3算数「円と球」で、書画カメラを活用した。ある教師は、コンパスの操作方法の説明に活用した。別の教師は、子どもが自分の考えを発表する時に活用した。コンパスを使って長さを写し取る方法を、理解させることができた。



小学1年グループ
山田 達也 (上社小)

小1生活「なつとなかよし」で、デジタルカメラやタブレットPCを活用した。植物の成長を記録し、印刷した写真を並び替えたり、動画で成長を振り返ったりした。子どもたちは、植物の変化に気付き、その特徴をつかむことができた。



シンキンググループ
井上 陽介 (大須小)

小3理科「動物のすみかをしらべよう」で、「生き物がいつもいる場所には、何か秘密があるのか」という学習課題に取り組んだ。情報を集め、取捨選択し、情報を要約するキーワードを考えることで、自分の考えをまとめることができた。



発表グループ
望月 武 (田代小)

小1国語「なつのおもいでをはなそう」で、「海と山、どちらを勧めたいか」を黒板にネームプレートを貼って示しながら理由と共に発表し合った。子どもたちは、友達と伝え合う意欲が高まり、自分の考えを広げることができた。



情報モラルグループ
高瀬 喜仁 (東丘小)

小1～中1の学年で、テレビやゲーム機、スマートフォン等を使う時のルール作りをする実践を行った。学んだ情報モラルを基に自分の生活を振り返り、学級の実態に合ったルールを作った。身に付けた情報モラルを生かすことができた。

平成27年度 名古屋市教育研究派遣員(情報教育)

- 荒川 大樹(松栄小) 「情報活用能力を高め、考えることを楽しむ児童の育成」～思考ツールの活用を通して～
- 石川 幸大(御器所小) 「相手を大切にする言葉を使える児童の育成」～手紙交換から始める情報モラル教育～
- 小田切 洋介(西山小) 「自分の考えを意欲的に相手に伝えることができる児童の育成」
- 後藤 宗(桶狭間小) 「情報社会に向けて約束やきまりを守り、生活に生かすことができる子どもの育成」
- 鈴浦 拓弥(高木小) 「科学的な思考・表現ができる児童の育成」～写真・映像を活用して～
- 瀧田 彩加(大須小) 「情報機器を活用して、自分の思いや考えを進んで表現することができる児童の育成」
- 堀井 克也(千年小) 「ネットの何が危ないの?」～インターネットと適切に関わろうとする児童の育成～
- 山本 貴之(春田小) 「伝え合うことの充実感を味わうことができる児童を目指して」

名情研Webのご案内 <http://www.meijoken.com/>

「実践インデックス」ページを新設しました。過去の実践を探しやすくしました。



「広報部特集」ページを更新しました。夏の全体研修会で使用したプレゼンテーションソフトの使い方のテキストと、サンプルファイルを公開しています。

